

---

外国ルーツ青少年の自立をささえる進路・キャリア支援事業

# 外国ルーツの若者が働くための 相談センター事業

---

NPO法人 国際活動市民中心(CINGA)

# 初期段階の事業構造とキーワード

エスニック  
コミュニティ

子ども食堂など  
地域資源

教職員・企業  
向け事業

②アウトリーチ事業

③後方支援事業  
(通訳・専門家対応)

①事業基盤となる外国ルーツの若者が働くためのサポートセンター

外国ルーツの若者が就労するために公正な支援を受けられる社会環境を作っていきます。

# 相談対応・調査から見えてきたこと

## 子ども食堂

ネパール人「家族滞在」の  
若者の内定取り消しケース

情報不足・本人のあきらめ  
・企業の理解不足

## ろう者当事者団体

母親が聴覚障害者の  
「定住」の就労支援の16歳のケース

家庭環境 情報不足  
手話通訳制度課題

## 地域おこし協力隊

中国人の「家族滞在」の  
夜間中学入学希望の15歳のケース

情報不足 家庭環境  
制度のはざま

## エスニックコミュニティ

インドシナ難民の1・5、2世  
「永住」の大学生の就活ケース

大学の無理解  
本人のあきらめ

## 社協 重層支援 地域福祉コーディネーター

障害をもった外国ルーツの若者の  
キャリア支援ケース

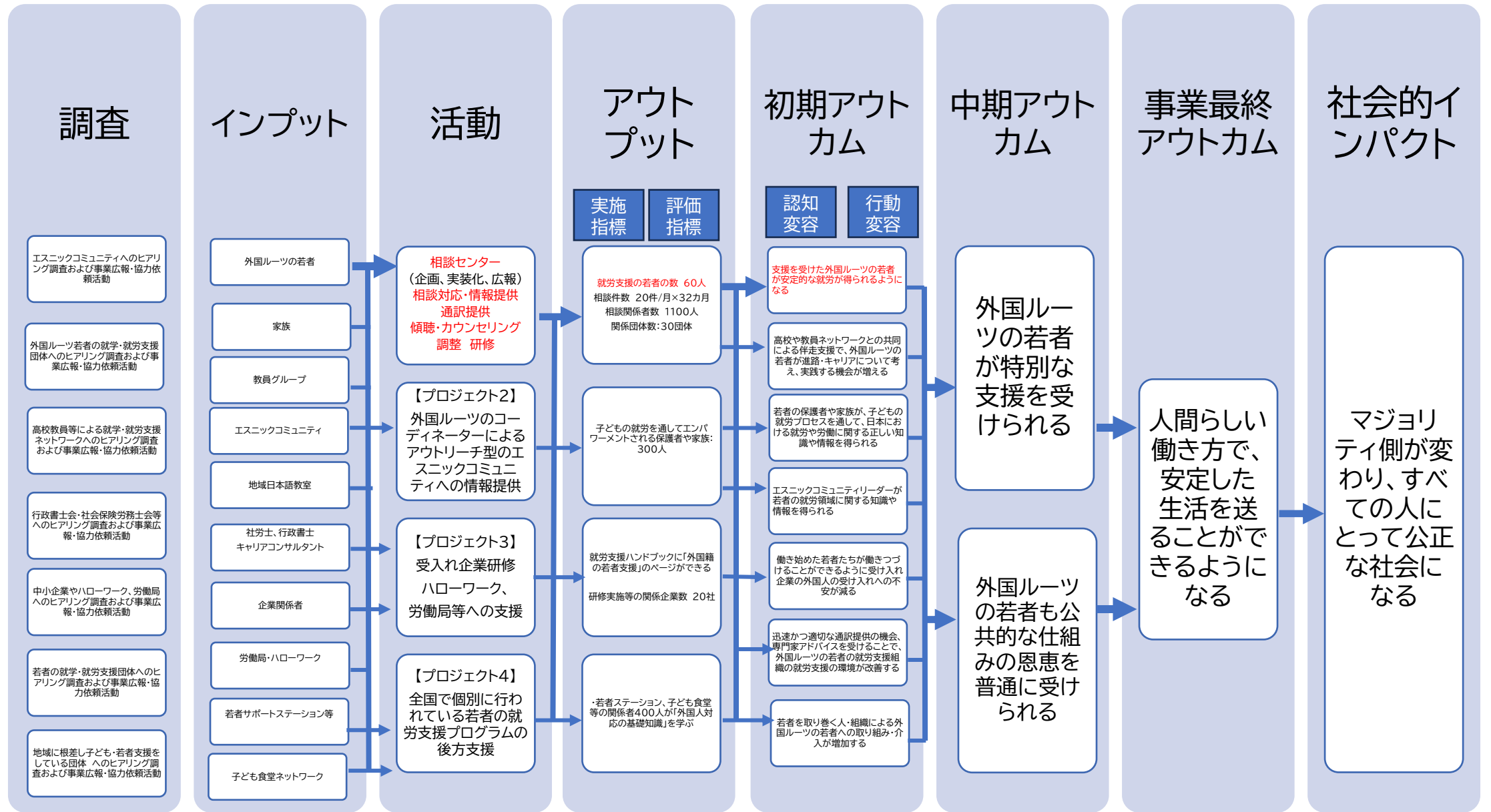
ほとんど手つかず

若者サポートステーション  
関係者との意見交換

制度・ことばの支援体制の不足・経験不足

企業・労働局等との意見交換

情報不足・縦割り



# 事業概要

## ①事業基盤となる外国ルーツの若者が働くためのサポートセンター事業

外国ルーツの若者本人からの相談だけではなく彼らを取り巻く人々や組織（保護者、教師、ケースワーカー、社会福祉協議会職員、民生児童委員、若者サポートステーション職員、子ども食堂関係者など）や企業からの相談にも広く対応します。相談対応・情報提供・通訳提供・傾聴・調整・研修実施を行います。そのため相談コーディネーターとして行政書士、社会保険労務士などの専門職コーディネーターや外国ルーツのコーディネーターを配置し、どこからでも使えるオンライン通訳も提供します。

## ②アウトリーチ事業（外国ルーツのコーディネーターによるエスニックコミュニティへの情報提供）

アウトリーチ型の情報提供・研修事業では、外国ルーツのコーディネーターが関係するエスニックコミュニティに働きかけ、本人や保護者に対して日本の制度や支援の仕組みなどを丁寧に情報提供を行います。

## ③アウトリーチ事業（教員等との連携、専門家による労働行政、企業研修などへのアプローチ）

働き始めた若者たちが働き続けることができるように企業に対しても専門職コーディネーターが間に入り現場研修などのサポートを行います。同様に学校や教員との協力事業も実施します。労働行政にも働きかけを実施していきます

## ④全国で個別に行われている若者の就労支援プログラムの後方支援事業

全国で展開されている就労支援事業実施団体が活動するときに必要な資源や情報を提供します。その一つとして、多言語通訳が必要な時にいつでも提供できるオンライン通訳サービスや、弁護士や行政書士による専門家相談、また、地域の国際交流協会や社会福祉協議会、行政など関係者への橋渡しやその地域で伴走支援を期待できそうな地域日本語教室などメンバーとのよいタイミングでのミーティングの実施など支援者を支援するための調整業務を行います。